

松の木からみえる郷土の風景と歴史

NPO 法人もりふれ倶楽部理事 池田友紀

年が明ければ新元号となるまであと5か月、平成の時代も終わろうとしています。

そして2020年、東京オリンピック開催に向けてますます盛り上がっていくであろう流れの中で忘れてはいけないのは、同じく2020年にここ島根県で開催される第71回全国植樹祭です。

この植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植え・お手播きされる予定の樹種はスギ、コウヤマキ、ヤマザクラ、オキシヤクナゲ、クロマツ、エノキ、アカマツ、クルミとなっており、一般招待者が行う植樹はスギ、ヒノキ、クヌギ、ヤマザクラ、ヤブツバキなどが予定されています。前回の1971年に島根県で行われた第22回植樹祭ではクロマツがお手植えされたほか、約1万9千本が植樹されました。

この他にも全国植樹祭ではこれまでに開催された全69回のうち23回、各都道府県においてマツが選ばれ、植樹されています。

また、島根県では県の木としてクロマツが選定されているのはみなさんご存知のことと思いますが、他にも北海道（エゾマツ）、岩手県（ナンブアカマツ）、群馬県（クロマツ）、福井県（マツ）、岡山県（アカマツ）、山口県（アカマツ）、愛媛県（マツ）、沖縄県（リュウキュウマツ）においてもシンボルの木として掲げられています。市区町村となると60を超える自治体がマツを選定しています。

こうした事例から、日本人にとってマツは身近で親しみやすい樹であることがよくわかります。

そんなマツという樹木は、マツ科（Pinaceae）に分類され世界に9属200余種、主に北半球に分布し、日本では植栽を含む7属28種がみられます。（「原色日本樹木図鑑・保育社」より）

以下にその分類を列挙します。（ ）内は別名。

モミ属	ウラジロモミ、モミ、アオモリトドマツ（オオシラビソ）、シラベ（シラビソ）、アカトドマツ、アオトドマツ
トガサワラ属	トガサワラ（カワキ、ゴヨウトガ）
ツガ属	ツガ、コメツガ
トウヒ属	マツハダ（イラモミ）、アカエゾマツ、バラモミ（ハリモミ）、ヒメバラモミ、ヤツガタケトウヒ、エゾマツ、トウヒ
カラマツ属	カラマツ、グイマツ
ヒマラヤスギ属	ヒマラヤシーダー（ヒマラヤスギ）、シマモミ（ユサン）
マツ属	クロマツ、アカマツ、ハイマツ、チョウセンゴヨウ（チョウセンマツ）、ヤクタネゴヨウ（アマミゴヨウ）、ハッコウダゴヨウ、ヒメコマツ、ゴヨウマツ

この中で私たちにとってなじみのあるものはやはりクロマツとアカマツではないでしょうか。



左;クロマツ、右;アカマツ(出展:Wikipedia)

クロマツ (*Pinus Thunbergii*) は幹が黒っぽくゴツゴツしており、枝は太く頑丈です。葉はするどく、さわると痛いことからオトコマツやオマツともよばれています。

クロマツは海岸の砂浜に多く見られることから、そうした環境を好む樹種と思われがちですが、正確には「他の植物が生きられないようなきびしい環境に耐える」ことができる樹種であるということです。塩分を含む強い風が吹き、養分の少ない砂地という悪条件下でも育つことができるので、海岸沿いの人家や農地を塩害や強風から守る「潮害防備保安林」や「飛砂防備保安林」として植えられてきたのです。

とはいえ、いくら乾燥や塩害に強いとはいっても、小さな苗木はなかなか根付かずに枯れてしまい、そのたびに苗を植えなおし、暴風垣をつくり、砂の表面にわらを敷いてやり、遠くから水を運んでまいてやるなど、大事に育てなければ成長しませんでした。そうして何十年もかけて辛抱強く育っていった先頭のクロマツが風よけになって次のクロマツを育て、さらに、次のマツが前のマツの助けをかりてそだちます。そうして、海岸沿いに植えられた松林は陸に入っていくにしたがって、高い樹になっている様子が見られます。

私たちが「^{はくしやせしろう}白砂青松」と呼んでいる白い砂浜と青々とした松がそびえたつ風景は、ときには江戸時代から何度も何度も植林をくり返し、人々が苦勞して作り上げてきた風景なのです。

「日本の白砂青松 100 選」も選定されており、島根県では「島根半島海中公園」、「浜田海岸」、「屋那の松原」、「春日の松群」の 4 カ所があります。訪れた際は、先人たちの苦勞に思いを馳せつつ、クロマツの様子を観察してみてもいいでしょう。

アカマツ (*Pinus densiflora*) は幹が赤っぽい茶色をしており、年をとると木の皮がはげおちてさらに赤くなります。葉の先はとがっていますが、クロマツにくらべて細くやわらかいのでさわっても痛くなく、オンナマツやメマツともよばれます。

アカマツは木が切られたり、山火事にあった林など明るくなったところによく育ち、植林する際も日当たりのよい乾燥した尾根沿いに植えられます。

アカマツ林といえばマツタケが生える林として有名ですが、それだけではなく、昔はいろいろと利用されてきました。かき集めた落ち葉を肥料にし、林の中に生えてくる小さな木をたきぎにするなど里山として利用するほか、幹から直接松脂をとっているいろいろなものに使われてきました。

「松脂ロウソク」はハゼノキから作られるロウソクが広まるまでよく使われていましたし、外で使われる明かりには松やにを多く含む部分を集めた「松明」が重要な明かりでした。他にも接着剤、塗料、靴墨、石けん、マッチ、朱肉、口紅、ガムなど日用品にも広く利用されてきました。

マツで作られた炭は軽くて灰が少ないので、刀鍛冶で刀をきたえるときに使われます。日本刀を1本きたえるのに約360kg(30俵)もの松炭が必要とされています。

ほかにも、松材をしめきった部屋の中で燃やすと「松煙」とよばれる大量の「すす」ができ、これをニカワと一緒にこねあげてできたものが習字や墨絵に使われる高級な「墨」になります。

こうして人がさまざまに利用していれば、適度に木が切られ、下草が刈られ、マツ林の中は明るく保たれ、若いアカマツも芽生えることができます。この里山の松林も、長い年月をかけて人が時間と労力をかけて作り上げてきた風景なのです。

今では、マツの油はあまり使われなくなり、石油や石炭がその代わりにしてくれます。アカマツの森は利用されなくなり、手入もされなくなっていきました。

さらに追い打ちをかけたのが、「松枯れ」とよばれる病害虫によるマツの大量枯死です。

正式名称は「マツ材線虫病」という病気で、マツノザイセンチュウという「線虫」がマツノマダラカミキリという「昆虫」に寄生し、マツノマダラカミキリが産卵や食樹をした際にマツノザイセンチュウがマツの木に入り込んで病原体となり、木を枯らす伝染病です。

マツノザイセンチュウは北アメリカ原産の外来種であり、北米から移入された木材から侵入したと推測されています。明治38年(1905年)に長崎県で初めて確認され、その後徐々に広がり、平成28年までの記録では北海道を除く全国で被害が確認されているほか、寒冷地への被害分布拡大が懸念されています。

伝染病なので、被害を抑えるには予防と駆除が必要です。もし自分の活動エリアや庭木のマツに以下のような症状がみられたら、早めの対応を行うことで病原体の拡大を防ぐことができるので、ぜひ覚えておいてください。

◆松くい虫被害の特徴

- (1) 多くが8月から9月に枯れ始め、1～2カ月で枯死する。
- (2) 木全体が枯死する。まれに梢端や一部の枝のみが枯死することもある。
- (3) 樹幹を傷つけたり枝を折ったりしても、その傷口からは樹脂(マツヤニ)が出ない



マツ材線虫病発生のメカニズム(出典:島根県立緑化センター)

こうして里山の松林は消えつつありますが、今でも松はさまざまな場所で人々の暮らしの中に入っています。

みなさんの家には「門かぶりの松」はありますか？私の実家にも松枯れの被害にあってなくなってしまいましたが、玄関前に松の木がありました。トゲトゲの葉を持つ松の木は、悪いものを遠ざける力があるとされてきたので、門の上に大きく枝をはった門かぶりの松が家を守ってくれるように、という願いから植えられてきました。

また、出雲平野では「築地松」とよばれる風景がみられます。この築地松は屋敷林の形態の一つとしてクロマツが定着していき、屋敷の西側と北側に刈り整えられたクロマツが季節風を防ぎ、斐伊川の氾濫から土地を守ってきました。こうした独特な景観がみられるのは世界でも稀であるとされ、貴重な資源として様々な保全対策が取り組まれています。

お正月には門松がかざられ、読んで字のごとく、本来はマツを用いて正月飾りとしていました。(地方によってはマツを使用しない門松もあるようです) マツは邪気を払うほか、神様が宿る木とされているので、年神様をお迎えするために玄関に飾られます。

盆栽にもマツがよく利用されます。しっかりと枝をはり、どうどうとした松の姿に、風に吹かれ、雪の重みに耐えた松と一緒に時を刻んできた日本人の心の風景と重ねて鑑賞する人もいます。

島根県においてマツは築地松だけでなく、松江城や出雲大社などの景観もつくりあげ、「関の五本松」など地域によってさまざまな景勝や情景を作り上げてきた、郷土の景観になくてはならない樹であるといえます。そうしたマツを保全していくことは郷土を守ることにもつながっていくはずですので、身近なマツに関心をもっていただければと思います。

平成30年度 もりふれ倶楽部の歩み

9月4日(火) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース2年生2クラス64名に対して、環境の授業の中で、池田友紀氏が「ツキノワグマ」をテーマに講義を行いました。

また、体験コーナーで、野々村俊成氏等が木の実工作の指導を行いました。

指導 野々村俊成、池田友紀、宮崎徳子



9月5日(水) み〜もサマースクール(にじの会)

島根県み〜もサマースクールの一環として、にじの会(八雲小学校、竹矢小学校、大庭小学校)児童30名と先生11名、保護者1名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。 指導 中村正志、近藤純子、森下美津子、岡田邦博、妹尾明美

戸谷広子、長野和秀、浜村悦郎、大峠百代、響徳恵、池田辰巳、濱下奈津子、藤原人美

9月9日(日)第5回里山自然塾

島根県主催の第5回里山自然塾「里山で芸術の秋、ヒノキの和紙に押し花アートをトッピングした栗と食欲の秋竹焼き米粉ケーキづくり」を参加者20名で実施しました。 講師 小笠原哲朗、中村正志

スタッフ 藤原人美、宮崎徳子、高橋伸明(島根県職員)



9月9日(日)雲南市立西小学校対応

雲南市立西小学校において、1, 2年生55名に対して「森の話」と「木切れ工作」の指導、3, 4年生47名に対して「竹の話」と「竹プロペラ作り」の指導、5年生29名に対して「森林保全の話」と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、岡田邦博、福岡茂明、池田友紀、森下美津子、大峠百代、熱田悠子、近藤純子、遠藤和則、遠藤訓子、藤原人美、宮崎徳子

9月11日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座23(阿須那小学校)

邑南町立阿須那小学校5, 6年生8名に対して、「森林保全の講義」と「飾り炭づくり」の指導を行いました。 指導 野田真幹、池田友紀



9月16日(日)第6回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第6回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



9月17日(祝・月)森林ボランティア(江津東小学校)

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りをおこないました。

メンバー 野田真幹、岡田邦博、豊田真樹子

9月18日(火) セーブジャパン対応

佐田町吉野林地において、出雲西高等学校環境福祉課コース2年生64名に対して、「ツキノワグマと同じ時代に生きている幸せ2018」をテーマに2組に分かれて、ツキノワグマの生態について学び、共存の道をさぐり、その実践として見通しの良い緩衝帯を整備する作業体験を行いました。



指導 野田真幹、池田友紀、野々村俊成、岡田邦博、池田辰巳、豊田真樹子、藤原人美、宮崎徳子
高橋伸明(島根県職員)



9月20日(木) 飯南町立来島小学校緑の少年団

飯南町立来島小学校1, 2年生17名に対して、島根県森林インストラクターでネイチャーガイドの池田友紀氏により、森林や自然と親しむため、木の実の観察と木の実を使ったケーキづくりの指導を行いました。

指導 池田友紀、石田弓子



9月20日(木)み〜もサマースクール(古志原、津田小学校)

島根県み〜もサマースクールの一環として、松江市立古志原小学校、津田小学校児童30名と先生10名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、福岡茂明、野田あや子、森下美津子、妹尾明美、池田辰巳、大峠百代、芦原正文
長野和秀、松井美幸、藤原人美、松尾俊(松江市職員)



9月22日(土) 森林ボランティア(出雲商業高等学校)

島根県立出雲商業高等学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として下刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、岡田邦博、宇矢弘、池田辰巳、浜村悦郎、高橋恭子

9月23日(日) 森林ボランティア(来島小学校)

飯南町立来島小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、危険木除去と下刈りをおこないました。

メンバー 別木健一、浜村悦郎、高橋恭子、竹下湖南、藤原人美



9月26日(水) み〜もスクール 第4回西小学校

雲南市立西小学校4年生17名に対して、第4回み〜もスクールとして「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、戸谷広子、森下美津子、藤原人美

9月27日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座24(亀嵩小学校)

奥出雲町立亀嵩小学校全校児童32名と保護者17名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」、「樹木観察」の指導を、旧奥出雲町立高田小学校において行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、藤原人美、宮崎徳子





9月28日（金）しまね森づくり Kommission 出前講座 25（桜江小学校）

江津市立桜江小学校において、4年生16名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」、「樹木学習」、「飾り炭づくり」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀

9月29日（土）プレイパーク対応

川津公民館において、島根大学教育学部附属中学校生徒企画のプレイパークで「樹木観察」「和紙作り」「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、洲濱寿晴、福岡茂明、藤原人美



10月2日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 26（木部小学校）

津和野町立木部小学校全校児童24名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



10月3日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 27（中西小学校）

益田市立中西小学校1, 2年生17名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 野田真幹、高濱実樹恵



10月4日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 28（安田小学校）

益田市立安田小学校5年生41名に対し、2コマ×2回に分けて、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵

10月5日（金）しまね森づくり Kommission 出前講座 29（宍道小学校）

松江市立宍道小学校5年生50名に対し、2コマ×2回に分けて、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、藤原人美、宮崎徳子、松尾俊（松江市職員）



10月7日（日）楽山公園再生イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、第2回「楽山公園再生」普及啓発イベントを実施しました。台風の関係で川津公民館を借りて行いました。参加者26名は、2班に分かれ、竹が整備されすっきりとした楽山公園で自然観察会を行い、川津公民館で竹細工を楽しみました。途中で、サツマイモの汁も味わいました。 指導 野田真幹、洲濱寿晴、中村正志、岡田邦博、福岡茂明、

藤原人美、宮崎徳子

10月8日（祝・月）森林ボランティア（布部小学校）

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りをおこないました。

メンバー 野田真幹、岡田邦博、別木健一、野田あや子、竹下湖南





10月9日（火）出雲農林高等学校対応

飯南町来島の山林において、島根県立出雲農林高等学校環境科学科1年生33名に対し、「森林・林業体験研修」として、午前は「森林保全の大切さについて」の講義と来島の山林で「ネイチャーゲームを導入した森林体験」の指導と午後は、島根県林業研究グループ会長 響繁則氏から「間伐」の話聞き、「間伐と造材の体験」「PC ウインチによる集材体験」の指導を行いました。

指導 野田真幹、響繁則、岡田邦博、中村正志、豊田真樹子、宮崎徳子



10月11日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座30（戸田小学校）

益田市立戸田小学校5年生8名に対して、「森林保全の大切さの講義」と「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 野田真幹、高濱実樹恵



10月13日（土）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校インターアクトクラブ13名に対して、飯南町立来島小学校学校林において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、岡田邦博、池田友紀、豊田真樹子、藤原人美

10月14日（日）第6回里山自然塾

島根県主催「第6回里山自然塾～秋の里山でキノコ狩り！～」を開催しました。参加者40名は、3班に分かれ、園内の3ブロックで、それぞれキノコ探しを行いました。学習室に戻ると、各班内で相談しながら、図鑑を使って自主鑑定を行いました。その後、講師の津島さん、富川さん、宮崎さんからレクチャーを受け自主鑑定の結果を確認してもらいました。食べられるキノコは、キノコ汁にしておいしくいただきました。 講師 津島辰雄、富川康之、宮崎恵子



スタッフ 中村正志、池田友紀、藤原人美、宮崎徳子、松尾俊（松江市職員）



10月15日（月）みーもスクール 第5回西小学校

雲南市立西小学校4年生16名に対して、第5回みーもスクール、学校林内での樹木学習の指導を3班に分かれて行いました。

指導 野田真幹、中村正志、長野和秀、池田友紀、野田あや子、藤原人美

10月18日（木）まつえ市民大学対応

ふるさと森林公園学習展示館において、まつえ市民大学いきいき健康コース受講生40名に対して、2班に分かれてネイチャーゲームリーダー野田真幹氏より「自然体験と心の健康」と伊原千里氏より「コケ玉づくり」の指導を交代で行いました。

指導 野田真幹、伊原千里、藤原人美



10月18日（木）出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校において、商業美術科の3年生9名に対し、間伐丸太動物を配置した「芸術の森林づくり」と「シイタケの裸地伏せホダ木の移動」の指導を行いました。 指導 野田真幹、中村正志、岡田邦博、福岡茂明、須澤真一

10月20日（土）第7回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第7回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

10月20日（土）雑木林で伐倒体験

玉湯町大谷 Rustic Craft ショールームにて、林業技士の野田真幹氏から「森の話」を聞き、大谷小学校林地において森の名手・名人 響繁則氏の指導でロープを使った広葉樹の伐倒を体験し、薪割の指導も行いました。

指導 野田真幹、響繁則、福岡茂明、戸谷広子、藤原人美、松尾俊（松江市職員）



10月22日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校、環境福祉コース3年生35名に対して、飯南町立来島小学校学校林において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、響繁則、中村正志、岡田邦博、福岡茂明、池田友紀
豊田真樹子、藤原人美

10月23日（火）荘原小学校出前講座

出雲市立荘原小学校において、4年生63名に対し、1時間目は2クラス全員に「森林保全の大切さ」の講義を行い、2時間目、3時間目は2クラス交代で、「樹木学習」、「間伐材の和紙づくり体験」の指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、藤原人美、宮崎徳子



10月23日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 31（江津東小学校）

江津市立江津東小学校において、3、4年生32名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、豊田真樹子

10月24日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 32（寺領小学校）

雲南市立寺領小学校3、4年生25名に対して「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り体験」の指導、1、2年生17名に「森の話」と「飾り炭づくり」の指導を行いました。 指導 野田真幹、池田友紀、宮崎徳子



10月25日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 33（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生55名に対して、森の大切さの講義と植樹をする前の事前学習を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

10月27日（土）28日（日）森林ボランティア（うぐいす山）

松江市立出雲郷保育園うぐいす山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りをおこないました。

メンバー 中村正志、別木健一、岡田邦博、浜村悦郎





10月27日（土）、28日（日）益田市研修

益田市主催の「目立てから始めるチェーンソー安全技術研修！」の企画・運営を行いました。講師 遠藤正資、豊田真樹子他 スタッフ 吉川奈月
コーディネイト 野田真幹

10月30日（火）み〜もスクール 第2回母衣小学校

奥出雲町阿井地内と宍道町ふるさと森林公園内で松江市立母衣小学校第2回み〜もスクールを開催しました。当日は天候に恵まれ、3クラスをバス2台に振り分け、午前と午後の体験メニューを入れ替えて実施しました。

指導 野田真幹、中村正志、響繁則、福岡茂明、野田あや子
藤原人美、宮崎徳子、松尾俊（松江市職員）



10月31日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座34（邑智中学校）

美郷町立邑智中学校1年生34名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美



11月1日（木）安来市私立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校において、3～6年生に対して最初に「焼き芋作り」の指導を行い学校林で5, 6年生に枝打ち体験、3, 4年生に間伐体験の指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、岡田邦博、豊田真樹子、藤原人美



11月2日（金）来島小学校緑の少年団対応

飯南町立来島小学校5, 6年生21名に対して丸太材を活用した動物のオブジェ作りの指導と森林保全の講義、間伐体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、岡田邦博、池田友紀、響繁則
豊田真樹子、宮崎徳子

11月3日（土・祝）中国電力イベント対応

ふるさと森林公園において、中国電力主催、「森林イベント」の企画運営をさせていただきました。指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、福岡茂明、大峠百代
小林玲子、宮崎徳子、松尾俊（松江市職員）



11月4日（日）、松江市環境フェスティバル

くにびきメッセを会場に、「松江市環境フェスティバル」が開催され、もりふれ倶楽部も「竹を使った工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。指導 野々村俊成、岡田邦博、長野和秀、藤原人美

11月5日（月）み〜もスクール 第6回西小学校

雲南市立西小学校4年生17名に対して、第6回み〜もスクールとして、焼き芋作りと飾り炭づくりの指導を行いました。指導 野田真幹、福岡茂明、池田友紀、藤原人美





1 1月6日（火）出雲西高等学校対応

安来市立赤屋小学校学校林において、出雲西高等学校環境福祉コース2年生32名対し、環境の授業の中で、枝打ちの指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、響繁則、岡田邦博、豊田真樹子、宮崎徳子

1 1月7日（水）みーもスクール 第3回布部小学校

安来市立布部小学校において、第3回みーもスクールを開講しました。今回の対象1～2年生6名に対して、竹が増えて大変の講義と竹で米粉ケーキ作りと焼き芋作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美



1 1月11日（日）松江市立出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園において、親子活動「うぐいすやまへGO!」を園児と保護者に対し、2班に分かれて、うぐいす山散策と、木の実工作、自由工作の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、福岡茂明、岡田邦博、池田友紀

森下美津子、伊藤志美恵、大峠百代、濱下奈津子、熱田悠子、藤原人美

1 1月11日（日）地SUN地SHOW祭り

くにびきメッセを会場に、「第34回地SUN地SHOW祭り」が開催されもりふれ倶楽部も「コケ玉づくり」、「木切れ工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。

指導 伊原千里、野田あや子、近藤純子、宮崎徳子



1 1月14日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 35（高尾小学校）

奥出雲町立高尾小学校全校児童9名に対して、森の話と木切れ工作の指導を行いました。指導 池田友紀、宮崎徳子

1 1月16日（金）持田小学校対応

松江市立持田小学校4年生36名に対して、森林保全の大切さの話と紙漉き体験間伐体験の指導を行いました。指導 野田真幹、中村正志、池田友紀、豊田真樹子
森下美津子、藤原人美、宮崎徳子



1 1月17日（土）第8回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第8回大人のための自然観察会を開催しました。指導 中村正志

1 1月18日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「紅葉の森の散策、熾火グリルで鶏の塩こうじ焼きと焼きジャガイモ、ヒノキの和紙作り」を実施しました。

指導 野々村俊成、中村正志、池田友紀、藤原人美



1 1月19日（月）しまね森づくり Kommission 出前講座 36（柿木中学校）

吉賀町立柿木中学校全校生徒37名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木学習」を行いました。指導 浅浦徹、高濱実樹恵

11月20日（火）江津市立江津東小学校対応

江津市立江津東小学校3、4年生32名に対して、3グループに分かれて島根県森林インストラクターの中村正志氏、長野和秀氏、池田友紀氏によりビンゴゲーム等をしてしながら「樹木観察」の指導を行いました。

指導 中村正志、長野和秀、池田友紀、宮崎徳子



11月21日（水）しまね森づくり Kommission 出前講座 38（真砂小学校）

益田市立真砂小学校3年生～6年生9名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



11月22日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 39（井尻小学校）

安来市立井尻小学校全校児童26名に対して、「森の話」と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 池田友紀、宮崎徳子



11月22日（木）しまね森づくり Kommission 出前講座 40（稗原小学校）

出雲市立稗原小学校4年生15名に対して、「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美



11月23日（祝・金）山林復興ボランティア

故栗栖誠氏（浜田市長見）の山林復興ボランティアとして、国土緑化推進機構認定「森の名手・名人」故栗栖誠氏の森林を再生し、その多彩な森林育成の方法と森林経営を再認識するための下刈りを行いました。

講師 響繁則 メンバー 野々村俊成、吉川英雄、野田真幹他



11月25日（日）第7回里山自然塾

島根県主催「第7回里山自然塾～プレ里山クリスマス！里山素材のリースと熾火で焼くチキンソテーを作ろう！」を開催しました。参加者22名は、塩麴に漬けた鶏肉をアルミホイルで包み熾火の中に入れてから、材料集めに出かけ、ツルを採取しリース作りに取り組みました。

講師 影山和美、野々村俊成、中村正志 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

11月29日（木）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校3、4年生14名に対して、「響繁則氏のシイタケ生産」と題した講義を行い、2年前に伏せこんだホダ木の移動と伏せこみ体験をしました。午後からはシイタケ植菌と裸地伏せの指導を行いました。

指導 響繁則、野田真幹、野々村俊成、中村正志、岡田邦博、池田友紀、豊田真樹子、藤原人美



もりふれ倶楽部今後の予定2019 1月～3月

1月13日(日) 10時～14時 第9回 里山自然塾「春の七草粥と新春の餅つき大会」
特別ゲストに佐藤仁志氏をお迎えして実施します。

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員25名(申し込み順)

1月14日(月) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

1月19日(土) 10時～15時 第1回 故栗栖誠氏の山林復興ボランティアイベント

☆刈り払い機を持った13人の侍募集 参加無料

集合：栗栖山林入り口9時50分または、道の駅ゆうひパーク浜田駐車場下段9時30分

刈り払い持参の場合2千円補助+車両(軽トラック・軽ワゴン・その他4輪駆動車等)5千円補助
持ち物～ヘルメット・作業関連の道具・雨具・飲み物・弁当 定員13名(申し込み順)

※有志で前日19時から浜田の市街地で懇親会も検討中です。春には、中学生が研修に訪れます。
今回は、はじめて栗栖氏の山林へ行かれる方も大歓迎です。是非、ご参加ください。

※お申込みの方は、住所・氏名・年齢・刈り払い機の有無・車両の有無・懇親会希望の有無を記載の上お申込みください。

1月20日(日) 10時～15時 間伐後の森林の片づけ～子供たちに素敵なフィールドを!
バス付スペシャル森林ボランティア「美しい森林づくり～赤屋小学校学校林」
内容：間伐体験と事前間伐後の片づけ作業・高校生の活動報告・森のはなし等
直接現地の方：9時50分 赤屋公民館集合(安来市立赤屋小学校近く)
送迎バス利用者の集合(無料)：8時20分 ふるさと森林公園学習展示館前
9時 県庁郵便局前

☆参加者募集中：各自のペースで作業をし、高校生と昼食交流会を行います。

参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット。道具・機械類は必要ありません。

前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、バスを利用されても交通費補助2千円を支給します。なるべくバスをご利用ください。

1月26日(土) 13時～27日(日) 15時 島根県森林インストラクター・森林サポーター
スキルアップ研修～延期の研修をリニューアル実施します!

会場：集合～道の駅浜田夕陽パーク駐車場 栗栖誠氏山林 江津少年自然の家

内容：1. 故栗栖誠氏の気配が消え去る前に大切なものを受け継ぐ研修!～栗栖氏の

山林経営と林業家としての人生を学び、自然体験の舞台としても素晴らしい山林で、ネイチャーゲームも体験します。

2. 竹三昧のアウトドアイベント実践研修～2～4 グループに分かれ、下準備時間後は、グループごとに知恵を絞り基本的に竹のみを活用してカレーライスを作ります。竹のみのアウトドア昼食会は果たして成功するのか？それは、あなたの参加にかかっています。

☆参加者募集中：参加費 5,000円予定（宿泊・食事・懇親会代を含む
持ち物～飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

※もりふれ倶楽部の会員の方は、島根県森林インストラクターでなくても参加できます。
お申込みは、1月19日正午までにもりふれ倶楽部へお申込み下さい。

2月3日（日）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：楽山公園竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。

参加費無料・昼食支給 いままで整備した場所に生えた竹を掃討します。

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：9時50分 楽山公園テニスコート下駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

2月9日（土）10時～12時 講座1. 樹木医による樹木診断研修 松江市城山公園

9時50分 県庁郵便局前集合 定員30名

13時30分～15時30分 講座2. 樹木医養成講座（座学）

松江イングリッシュガーデン 定員20名

☆参加者募集中：参加費：無料

NPO 法人島根県樹木医会（佐藤仁志理事長）のメンバーがわかり易く指導していただきます。前日正午まで受け付めます。

※お申込み時は、講座1のみ参加、講座2のみ参加、両方参加のいずれかを明記してください。

2月10日（日）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：除伐と片付け

9時50分 江津市立江津東小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸等

前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

2月11日（祝・月）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：市民会議と竹の整備

9時50分 出雲郷公民館駐車場集合

午前中は竹の伐採、午後は市民会議のメンバーと合同で竹の片づけと14時か

ら竹細工を楽しみます

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸
前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

2月16日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：市民会議と竹の整備
9時50分 出雲郷公民館駐車場集合
午前中は竹の伐採、午後は市民会議のメンバーと合同で竹の片づけと14時から竹細工を楽しみます

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸
前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

2月17日(日) 10時～15時 第10回 里山自然塾「里山でつるかご編みを楽しむ！」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

2月23日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします

3月2日(土) 10時～15時 飯南町県民の森ふれあい講座
「雪だるまの森づくり、餅つきと呉汁」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室
持ち物～飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)

3月3日(日) 10時～15時 第11回 里山自然塾「燻製・シイタケ植菌体験」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

3月16日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：植樹
集合場所：出雲市役所佐田支所駐車場 9時20分

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・鍬・スコップ等
前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支

給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

3月30日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。
☆参加者募集中:参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。



もりふれ倶楽部通信 NO. 57

NPO法人もりふれ倶楽部

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>